

**製品名: JNK2 ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe85722**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 48 kDa; Observed MW: 54 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	JNK2 MAPK9; JNK2; PRKM9; SAPK1A; Mitogen-activated protein kinase 9; MAP kinase 9; MAPK 9;
別名	JNK-55; Stress-activated protein kinase 1a; SAPK1a; Stress-activated protein kinase JNK2; c-Jun N-terminal kinase 2
遺伝子 ID	5601.0
SwissProt ID	P45984
免疫原	ヒト JNK2 の合成ペプチド

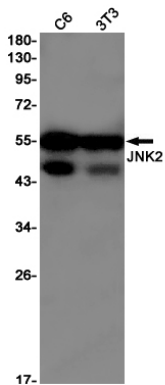
## 背景

ストレス活性化プロテインキナーゼ/Jun アミノ末端キナーゼである SAPK/JNK は、紫外線やガンマ線などの様々な環境ストレス、セラミド、炎症性サイトカイン、そして場合によっては成長因子や GPCR アゴニストによって強力かつ優先的に活性化されます。他の MAPK と同様に、コアシグナル伝達ユニットは MAPKKK (典型的には MEKK1-MEKK4) または混合系統キナーゼ (MLK) のいずれかによって構成され、MLK は MKK4/7 をリン酸化して活性化します。

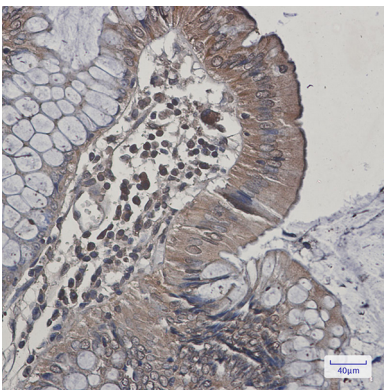
## 研究分野

TGF- $\beta$  シグナル伝達経路、MAPK シグナル伝達経路

## 画像データ



JNK2 抗体を使用した C6、3T3 溶解物中の JNK2 のウエスタン プロット分析。



JNK2 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。